

石器・石材で分かる
東西交流

や、弓矢の矢じり（鏃）には、鋭い切れ味が必要不可欠です。伊勢市内で手に入る石材では限界があります。そのため、石器時代の人々は、遠方から調達した石材を加工して石器をつくっていました。

また、佐八藤波遺跡から発見された縄文土器からも他の地域でつくられたと思われる土器が出土しています。

私たちが思っている以上に縄文時代の人の交流・情報網は広く展開していたのかもしれません。

表紙の答えは…

有孔磨製石製品

石の細い方に木の棒をつけて石斧として木の伐採や加工もしくは石鍬として土を掘り起こすために使用されていたのでは？と考えられています。孔の使い方も特定されていません。非常にロマンを駆り立てられる石器です。

文化の秋 掘り出し発見！

伊勢の石器

文化政策課 ☎22-7884 FAX 22-3454

石器の石材を紹介

サヌカイト

黒っぽい粒子の細かな火成岩（安山岩）の1種です。打撃を加えたところから扇状に割れる特徴があります。香川県屋島地方や、奈良県と大阪府にまたがる二上山が産地として有名です。



サヌカイト片（佐八藤波遺跡）

讃岐石とも言います！

三重では珍しい石器石材の代表格



黒曜石片（佐八藤波遺跡）

黒曜石

黒色や灰色っぽいガラス質の火山岩です。硬質で鋭く割れる特徴があります。長野県の和田峠、北海道の白滝、東京都の神津島などが産地として有名です。掲載の破片は、成分分析の結果、和田峠産であることが分かりました。

赤・青・白などさまざまな色があります！



チャート片（元新田遺跡）

チャート

主に生物の死骸が堆積して長い年月をかけて岩石になったものです。市内のどの河川敷にも落ちている石材で、入手しやすい反面、石目（石の割れやすい方向）が多く、思わぬところで割れることがあり、良質なものでないと石器はつくれません。

次のページで石器の種類を詳しくご紹介！

皆さんは市内にいわゆる石器時代（旧石器時代・縄文時代ごろ）の遺跡があることをご存じでしょうか？市内には、約90カ所の石器時代の遺跡があります。

伊勢市の歴史といえば、江戸時代の伊勢参宮に関する文化・歴史がよく知られています。東西問わず多くの人々がこの地を訪れ、さまざまな人々の交流の中で、伊勢独自ともいえる文化・歴史を育んできました。

実はこうした東西交流の歴史は、石器時代にすでに始まっていた。その証拠となるのが伊勢市で発見された「石器」です。現在の大阪府や長野県などから石器の石材が持ち込まれていたことが分かっています。

今回の特集では、伊勢市が所蔵する石器の中でも優れた品を選び（掘り出し）、考えられる使用方法とともに紹介します。

石器時代からたどる時代年表

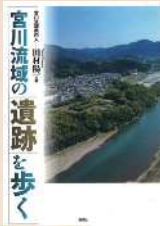
※伊勢は伊勢市での出来事です。

近世			中世			古代			300年ごろ		紀元前2,400年ごろ		紀元前1万2千年ごろ		原始		紀元前3万年ごろ		時代					
江戸時代			安土桃山時代		室町時代	鎌倉時代		平安時代	奈良時代	飛鳥時代		古墳時代		弥生時代		縄文時代		旧石器時代		より現代へ				
1867年	1635年	1603年	1600年	1590年	1338年	1274年・1281年	1186年	1185年	797年	794年	752年	710年	690年	645年	593年					より昔へ				
●大政奉還 たいせいほうかん			●徳川家康が征夷大將軍となる。 (江戸幕府)		●徳川家康が勝つ。	●豊臣秀吉が全国を統一する。	●足利尊氏(あしかがたかうじ)が征夷大將軍となる。 (室町幕府)	●西行(さいぎょう)が二見を去る。 ●元寇(げんこう) (文永・弘安の役)	●平氏滅亡	●小仏(こぶつ)に離宮院(りきゆういん)がつくられる。 ●伊勢	●京都に平安京がつくられる。	●東大寺・大仏が完成する。	●奈良に平城京がつくられる。	●式年遷宮(しきねんえんぐう)がはじまる。 ●伊勢	●大化の改新	●聖徳太子(しょうとくたいし)が摂政となる。	●近畿地方に大きな古墳がつくられる。 ●近畿地方に大和政権(やまとしけん)が誕生する。 ●高倉山古墳(たかくらやま)がつくられる。 ●伊勢		●土器(どき)が作られ、弓矢(ゆみや)が使用される。 (狩猟・採集(くわうりょう・さいしゅう)のくらし) ●佐八藤波遺跡(さやふとうなみ)の最盛期(さいせいき)と思われる。 ●伊勢		●三重県域(みえけんいき)に人が暮らしはじめる ●海水面(かいすいめん)が低下し、大陸(たいりく)と一部陸続きとなる。 ●伊勢		●旧石器時代(きゅうしききじだい)の遺跡(いせき)が数多く見つかる。 ●伊勢	

もっと
知りたい
皆さんへ
書籍を紹介

今回紹介した石器が発見された遺跡の一部は、次の書籍に記されています。興味のある皆さんは伊勢図書館などで貸し出ししています。

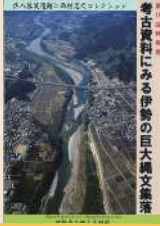
『宮川流域の遺跡を歩く』



田村陽一／著
風媒社
平成29年

入門書として
おすすめです！

『考古資料にみる伊勢の巨大縄文集落
佐八藤波遺跡と西村忠之コレクション』



伊勢市教育委員会
／発行 平成14年

縄文時代の
暮らしの様子が
分かります！

『伊勢市史 第六巻 考古編』



伊勢市／編さん・刊行
平成23年

より専門的に
知りたい人に
おすすめです！

文化財担当者から一言



最後まで
ご覧いただき
ありがとうございました！

伊勢市は、この他にも市内遺跡から出土したさまざまな時代の考古資料(土器・石器など)を多数所蔵しています。全ての資料を一度にご紹介することは難しいですが、今回の特集記事のように新しい形での文化・歴史の情報発信を進めていきたいと考えています。次の機会は、土器を検討中です。

石器の代表格
槍先形尖頭器
やり さき がた せん とう き
石製の槍先です。大型・中型の動物の狩猟に使われました。
やもちょう 矢持町上村地区 (旧石器時代)

こみどうまえ 小御堂前遺跡 (縄文時代草創期)
いし きり (せきすい) **石錐**
あな 孔を開けるために細長く尖らせた石器です。皮・骨角・石などの加工に用いられました。石に孔を開ける際には、硬い砂粒を摩擦材として用いて、石錐を回転させ、孔を開けました。
まがつざい 佐八藤波遺跡 (縄文時代)

せき すい **石錘**
おもり 網の錘として使用された石器です。丸石の上下か左右2カ所に、縄を巻き付けるための切りこみがあります。
元新田遺跡 (縄文時代)



今回紹介の遺跡などの位置図

伊勢市内には多数の文化財があります。そのマップ(地図)をインターネット上に公開しています。ぜひご覧ください。



文化財マップ 伊勢市 検索

1万年以上前の
石器です！
元新田遺跡(旧石器時代)
ナイフ形石器
名称のとおりナイフとして使われた石器です。仕留めた動物から皮をはぐ際などに使われました。

元新田遺跡
粗製剥片石器
原石から打ち欠けた鋭利な欠片に簡単な加工を加えた石器です。石包丁の可能性もあります。

たま **玉**
佐八藤波遺跡 (縄文時代)
ひも 装飾品として紐を通して首飾りなどにしていたと推測されます。

ぼう すい **紡錘車**
つむ 糸を紡ぐ際に用いた石器です。弥生時代以降、織物生産に伴い、普及しました。
元新田遺跡 (弥生時代)

特集 文化の秋 掘り出し発見！ 伊勢の石器
生きる知恵と技術が詰まった石器の数々
伊勢で発見された
すごい石器9選！
※4・5ページの石器の写真は全て実物大です。

刃を直接
持って使用
方眼の一边の長さは5mmです。
いし さじ **石匙**
おおいすだに 大床谷D遺跡 (縄文時代)
主に皮はぎ・切断具として使用していました。これを発見した江戸時代の人は、つまみが付いた形状から「天狗の飯匙」と呼びました。明治時代に名称が改められ、石匙となりました。

せき ぞく **石鏃**
矢の先に付けた石製の矢じり(鏃)です。主に小型動物や鳥類の狩猟に用いられました。
佐八藤波遺跡 (縄文時代)